

定置網

島根県から許可を受け、大型の網を設置して行う漁法です。操業期間が決められており、9月～3月の期間にのみ操業しています。

『囲い網』

垣網に沿って泳いできた魚がこの中に集まります。魚はここで泳いでいるうちに、モンドリに入ってしまう。

『モンドリ』

誘導されてきた魚が最後に入る部分です。入口にカエシがついており、出にくい構造となっています。

『垣網』

魚が障害物に沿って泳ぐ習性を利用して、囲い網の中に誘導するための網です。

ます網

湖内に仕掛ける定置網です。「垣網」「囲い網」「モンドリ」から構成されています。スズキ用・アマサギ用・シラウオ用と網目の大きさを変え、様々な魚介が漁獲されます。

『モンドリ』

誘導されてきた魚が最後に入る部分です。入口にカエシがついており、出にくい構造となっています。

おだ網

湖内に仕掛ける定置網です。冬季にコイ・フナが物陰に隠れる習性を利用して、木の枝『おだ』を水中に積み上げ、集まった魚を漁獲します。

『おだ』

木の枝を積み揚げたもの。冬季にコイ・フナが物陰に隠れる習性を利用して、魚を集積し漁獲します。

小袋網・越中網

河川内に仕掛ける定置網です。川を下る魚を漁獲する定置網で、袋状の網にカエシがついたシンプルな形をしているのが特徴です。主に大橋川に設置され、シラウオ・エビ・スズキなど様々な水産物が漁獲されます。

『カエシ』

内に行くほど狭くなっており、一度ここを通って中に入ると簡単に出にくい構造になっています。

その他の漁法

穴道湖ではシジミ掻きや定置網のほかにも様々な漁法があります。

『カンテラ』

魚が光に集まる習性を利用して、明かりを灯します。

刺網

網目の大きさの違いで、スズキ用・フナ用・アマサギ用があります。目合に応じて魚を絡め捕ります。

延縄

100m以上の縄に釣り針を何十本とつけて、餌釣りをする漁法です。スズキ延縄はゴカイ、ウナギ延縄は蜂の子やミズズエサを使います。

だば(しば)漬

木の枝を束ねたものです。ウナギやエビが隠れる習性を利用して、タモ網ですくい漁獲します。

竹筒

竹製の筒です。ウナギが中に入ったところに引き上げます。

しば手網

竹で作った柵で魚の行く手をふさぎ、避けようとした魚を刺網で漁獲します。

四つ手網

現在行われることはありませんが、大きな網を引きあげ、通過する魚を漁獲します。

公魚掻き

現在行われることはありませんが、特製の網でワカサギを漁獲します。

笠

ウナギ・エビ類を漁獲するワナ漁の一種です。入口にはカエシがついており、一度入ったら出にくい構造になっています。中に餌を入れて、対象種を誘い込みます。